

みやぎ園芸特産振興戦略プラン（令和3年度～令和7年度）の中間見直しの概要

令和6年3月1日

- ・みやぎ園芸特産振興戦略プランは計画期間を令和3年度から令和7年度までの5年間とし、中間年の令和5年度に見直すことができるものとしており、近年面積が拡大している「さつまいも」を地域戦略品目から県戦略品目に変更するほか、社会情勢の変化等を踏まえ、本文の一部を修正しました。
- ・修正内容は以下のとおりで、県ホームページの修正箇所は赤字下線で示しています。

No	項	修正前	修正後	修正内容
1	16	-	<u>さつまいも</u> <u>H30(基準) R7(目標) 伸び率</u> <u>作付面積</u> 二 <u>80ha</u> 二 <u>産出額</u> 二 <u>4億円</u> 二	県戦略品目への「さつまいも」の追加に伴う推進目標の追加。 ※現状値の統計値はない。
2	17	重点振興品目（69品目） 県戦略品目19品目 地域戦略品目50品目	重点振興品目（ <u>70</u> 品目） 県戦略品目 <u>20</u> 品目 地域戦略品目50品目	「さつまいも」が地域戦略品目から県戦略品目に変更されることに伴う修正。 ※R4.4.1に地域戦略品目にアスパラガスが追加されているため、地域戦略品目数に変更はない。
3	18	-	-	県戦略品目に「さつまいも」の追加（地域戦略品目から県戦略品目への変更）。
4	19	-	-	重点振興品目の一覧表を最新の表に修正。
5	23	基本方針1－（3）－ロ ○温室効果ガス削減に資する省エネルギー設備等を活用した次代の施設園芸の取組を促進するため、きゅうりやいちごでの二酸化炭素局所施用による使用量の低減技術や地中熱の暖房利用、木質バイオマス暖房機の活用等、二酸化炭素排出削減による環境負荷低減型施設を推進し、新しい施設園芸モデルとして県内への普及啓発を図ります。	基本方針1－（3）－ロ ○ <u>国の「みどりの食料システム戦略」でも目標に掲げている</u> 温室効果ガス削減に資する省エネルギー設備等を活用した次代の施設園芸の取組を促進するため、きゅうりやいちごでの二酸化炭素局所施用による使用量の低減技術や地中熱の暖房利用、木質バイオマス暖房機の活用等、二酸化炭素排出削減による環境負荷低減型施設を推進し、新しい施設園芸モデルとして県内への普及啓発を図ります。	みどりの食料システム戦略を意識した表現を追記。
6	27	基本方針2－（3）－イ ○担い手の減少に対応するため、機械化一貫体系の推進やアグリテック導入等により省力化を図り、低コスト生産に向けた大規模化を推進します。そのため、モデル実証ほを活用しながら、露地園芸に取り組む生産者の導入支援を行うとともに、試験研究機関などによる技術開発や経営モデルの策定等を進めます。	基本方針2－（3）－イ ○担い手の減少に対応するため、機械化一貫体系の推進や <u>RTK基地局を利用した自動操舵技術等の</u> アグリテック導入等により省力化を図り、低コスト生産に向けた大規模化を推進します。そのため、モデル実証ほを活用しながら、露地園芸に取り組む生産者の導入支援を行うとともに、試験研究機関などによる技術開発や経営モデルの策定等を進めます。	アグリテックの一例として、RTK基地局を利用した自動操舵機器の導入を推進する旨を追記。
7	31	基本方針3－（2）－ハ ○農業生産に由来する環境負荷を低減するため、有機農産物等の生産を推進するほか、有機農業等の取組について、PR販売会や消費者と生産者の交流会等の開催等を通じて、さらなる理解促進を図ります。	基本方針3－（2）－ハ ○ <u>近年の肥料価格高騰等の情勢変化も踏まえ、持続的な生産体制を構築し、</u> 農業生産に由来する環境負荷を低減するため、有機農産物等の生産を推進するほか、有機農業等の取組について、PR販売会や消費者と生産者の交流会等の開催等を通じて、さらなる理解促進を図ります。	有機農業等の取組について、肥料高騰を踏まえた表現を追記。
8	59	1 年次別推進目標 項目 R5(中間評価) 目標(R7)B 伸び率(B/A) 作付面積(ha) 2,055 2,198 129.4% 生産量(t) 27,723 29,900 134.2% 産出額(億円) 52 57 139.0%	1 年次別推進目標 項目 R5(中間評価) 目標(R7)B 伸び率(B/A) 作付面積(ha) <u>2,093</u> <u>2,278</u> <u>134.2%</u> 生産量(t) <u>28,823t</u> <u>31,500t</u> <u>141.4%</u> 産出額(億円) <u>53</u> <u>61</u> <u>148.8%</u>	加工・業務用野菜全体の目標値にさつまいもの目標値を加算。 作付面積 +38ha(R5) +80ha(R7) 生産量 +1,100t(R5) +1,600t(R7) 産出額 +1億円(R5) +4億円(R7)
9	59	-	2 現状と課題 【生産概況】 ・ <u>さつまいもは、県内で徐々に生産が拡大してきていますが、栽培や貯蔵等の技術力の向上、産地化に向けた販路の統合等が課題となっています。</u>	さつまいもに関する記載を追記。